

石原氏、官房参与を辞任

「口十助成受給批判受け引責



石原伸晃氏

岸田文雄首相は10日、石原伸晃・内閣官房参与(64)の辞任を発表した。石原氏が代表を務める政党支部が昨年、新型コロナウイルス岡副大臣の支部も

の影響を受けた事業者を対象とする国の緊急雇用安定助成金計約60万円を受給していたことなど、批判が広がっていた。石原氏が電話で「混乱を生じる」と明かにした。石原氏は3日に参与に就任したばかり。わずか1週間での辞任に首相は「短い期間でこのようなことを考へると、混乱は避けられない。その点についても、政治を動かす意味でも、大変大きいものがあると判断した」と説明した。

石原氏は首相とは盟友関係にあり、自民党幹事長や国土交通相、経済再生相を歴任。総裁選では早くから首相の支援に回った。10月の衆院選で11回連続当選をめざしたが、落選。その後、首相が自ら電話して観光立国などを担当する参与への就任を打診した。選挙で有権者の支持を得られなかつた石原氏が、落選直後に政権のフレーンに就任したことでも批判されていた。首相は「経験に鑑みて、力を貸してもらいたいとの思いでお願いした」とも話した。

も、政治を動かす意味でも、大変大きいものがあると判断した」と説明した。

石原氏は首相とは盟友関

係にあり、自民党幹事長や国土交通相、経済再生相を歴任。総裁選では早くから首相の支援に回った。10月の衆院選で11回連続当選をめざしたが、落選。その後、首相が自ら電話して観光立国などを担当する参与への就任を打診した。選挙で有権者の支持を得られなかつた石原氏が、落選直後に政権のフレーンに就任したことでも批判されていた。首相は「経験に鑑みて、力を貸してもらいたいとの思いでお願いした」とも話した。